

# くよみ通信

No. 15 2020/02/01

## 芋沢街道・御覽場を歩く

今回（1月16日）は、国見峠の「御覽場」を探索しました。「御覽場」とは、国（領内）を一望することに由来します。

江戸時代、伊達政宗も城下を見渡すために来ていたのでしようか。絵地図にも示されているらしい。

仏舍利塔から200mの所に、234・8mの国土地理院の三角点を確認しました。



↓三角点の標柱と→三角点のアップ



ました

（※1月9日の青陵の冬散策は中止になりました）

（大沼・記）

眺望を求めて藪を進み、はるかに市街地を臨む場所に到達。ここが、「御覽場」かどうかは不明ですが、眺望は、こんなものだったのではないのでしょうか。

途中、宮城県企業局の送水管布設点の標識を発見しました。峠を下り、無線中継所付近で、旧道の名残を確認しました。



←この場所は、中世の館だったかもしれない。土塁らしき地形もある。



↑草むらの中、わずかに踏み分け道が残っていた。ぐんぐん進む会員。一ついに見えた、仙台市街。高いビルは、花京院にある東北電力の新しいビルか



## 2020年2月の活動予定

### 2/6(木)

#### 「青陵の森・初冬を歩く」

- ◆冬の森の様子を探ります。
- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加。

#### 「宇那禰神社を知ろう」

- ◆旧芋沢村の古社の歴史。
- 備考：現地集合・現地解散
- 主催：大沢市民センター

※それぞれに参加者を募ります

### 2/20(木)

#### 「青陵の森・冬を歩く」

- ◆冬の森の様子を探ります。
- 集合 10:00 青陵中等教育学校
- 会員のみ参加

## 3月以降の活動予定

- 3/5(木)「古老の話を聞く会」
- 3/19(木)「青陵の森・春を感じる」



↑旧芋沢街道が、現在の道路の横に平行して残されている



→宮城県企業局の送水管布設点の標識